

くり、学びを通しての生きがいつくりと仲間づくりといった目的を踏まえ事業や講座を設定していく。

Q 保育所費について令和6年度末の待機児童数と新年度の見込み人数は。

A 令和6年度末の保育所待機児童数は、本年2月1日時点で38人であり、新年度となる本年4月の待機児童数の見込みは、入所調整の一次審査を終えた段階で52人であるが、現在行っている二次審査のなかで減少していく。

Q 地域介護予防活動支援事業費について令和7年度の具体的な取り組みは。

A 令和7年度は、体操を指導するサポーターを新たに養成するサポーター養成講座とサポーターフォローアップ講座の開催、自主グループの立ち上げ及び継続支援に取り組んでいく。なお、自主グループの継続支援として、これまで実施していた参加者の体力測定に加え、理学療法士が行う講座等を新たに加えて、自主グループの希望に応じて支援内容を選択できるよう充実を図っていく。

Q クリーンエネルギー推進補助事業費のうち、新しい事業である再エネ電気切替協力金の概要は。

A 協力金の支給要件は、市内に住む個人または市内で事業を営む事業所であること、また、環境省が認定する再生可能エネルギー100%の電気契約プランに令和7年4月1日以降に切り替えることであり、協力金の支給額は1件当たり2万円である。

Q 狭山市道路施設等包括的民間管理委託料について、どのような事業をどんなところに委託されるのか。

A 現場作業に従事する技能労務職員の高齢化に伴う人員不足により、従来行ってきた市民サービスが滞るおそれがあることから、主に市が直営で実施していた道路の補修や街路樹の剪定、除草のほかに、市民等からの問合せなどの受付対応業務を民間事業者へ包括的に委託し、民間活力を活用するもの

である。

Q 狭山市駅加佐志線整備事業について、令和7年度事業の内容及び今後のスケジュールは。

A 令和7年度は、道路築造工事と調整池の整備を進め、令和8年度末の全線供用を目途に鋭意事業を推進していく。

Q さやまっ子スイスイプロジェクト事業の目的と今後の展望は。

A 民間スイミングスクールの実技指導を活用して泳力の向上を図ることを目指しており、今後は全ての小学校の水泳授業は民間委託による支援を受け、実技指導の強化を図っていく。

◆水道事業会計

Q 近隣市で水道管の破裂事故が起き、市民からも不安の声が上がっている。市で管理する水道管の老朽化の現状と令和7年度の改修予定は。

A 令和5年度末現在、市が管理する配水管のうち法定耐用年数40年を経過した管は、約116キロメートルであり、漏水調査とともに、管の更新工事を計画的に行っている。令和7年度事業は、漏水している可能性のある管の調査及び老朽化した管約3.8キロメートルの更新工事を予定している。

◆下水道事業会計

Q 県内で発生した大規模下水管の破損による陥没事故を受けて、市民から不安の声が寄せられているが、狭山市での汚水管の老朽化の現状と令和7年度どのような事業を実施する予定なのか。

A 令和5年度末現在、市が管理する汚水管のうち耐用年数50年を経過した管は、約65キロメートルであり、計画的に点検や調査を行い、工事が必要な区間は、順次、改築工事を実施している。令和7年度事業は、約400カ所のマンホール及び3カ所の硫化水素が発生しやすい施設について点検し、管の入れ替えやライニングによる工事を約1.4キロメートル実施する予定である。